

鹿児島大学病院

研修医 平島 忠寛 2013年6月

鹿児島大学病院初期研修医2年目の平島忠寛です。

昨年1年間は霧島市隼人町にある霧島市立医師会医療センターで研修し、今年4月から鹿児島大学病院で研修させていただいており、6月の1か月間、地域医療研修として出水総合医療センターを中心として、野田診療所、高尾野診療所、大川内診療所、上場診療所、出水保健センターといった協力施設で研修させていただきました。

出水総合医療センターの第一印象は受付がとても開放的で明るいということでした。また6階からの眺めがとてもよく、景色に感動しました。「出水といえば鶴」なのですが、残念ながら6月で鶴はいませんでした。しかし、道路の脇に鶴のオブジェがあり、鶴をモチーフにしたマークがたくさん目につきました。

協力施設での研修では、外来での診察も経験させていただく機会もありました。限られた時間の中で問診・身体所見をとり、適切な検査をだし、また説明の過程で予想していた所見と実際の所見が違ったり、自分なりにスムーズにこなしているつもりでも、予定の時間より進行が遅れていたり、鑑別のためにどのような所見が必要かなど整理できずに、どうすればよいのかわからなくなる場面もあり自分の知識・経験不足を痛感する場面もありました。

往診中も道端で患者さんを見かけたら一声かけて調子を聞いたり雑談し、患者さんとの距離が近いと感じました。

出水総合医療センターでの研修は脳神経外科を中心に研修させていただき、救急外来や病棟、手術室に入らせていただきました。カルテの書き方から身体所見の取り方、必要な検査の出し方など1か月だけではもったいない内容の研修をさせていただきました。

脳神経外科で指導していただいた加治先生、瀬戸先生、池田先生をはじめ、すべての先生方、スタッフの皆様、地域の皆様ありがとうございました。